

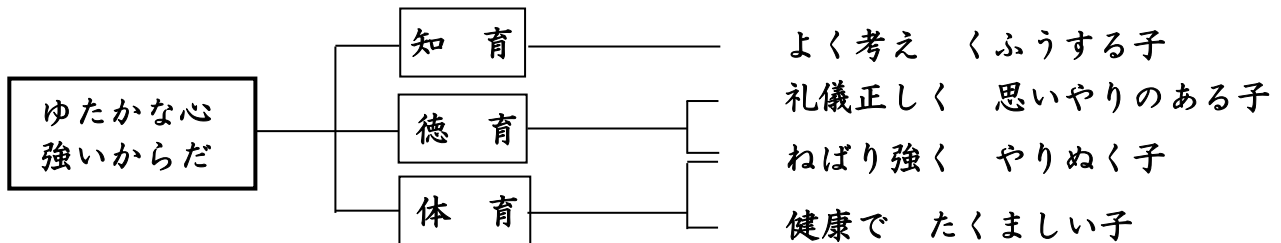
1 教育目標

(1) 本校の教育目標

人間尊重の精神に基づき、新しい時代を創造するための基礎学力と社会(学級・学校・家庭・地域)の一員としての連帯意識を身に付けさせ、主体的・対話的に考え実践する心身ともに健康な子どもを育成する。

(校訓)

(めざす児童像) 仲間とともに自分らしく



(2) 経営方針

- ア **学校づくり** 対話と協調の精神を大切にし、教職員の共通理解と協働、研修により、創意と活力に満ちた教育活動の実現に努める。
- イ **学習づくり** 学習指導要領を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を積極的に進め、学習の評価を指導の改善に生かすよう努める。
- ウ **仲間づくり** 挨拶や学び合い、助け合いなど、周りの人との関わりを豊かに仕組み、人とつながるよさを実感させ、心身ともに健やかな児童の育成を目指す。
- エ **連携づくり** コミュニティスクールの機能を活用して、伝統(縦)を受け継ぎ、仲間・家庭・地域との連携(横)を深め、地域に開かれた学校として、たくましく地域に生きる児童の育成を目指す。
- オ **職場づくり** 業務改善を進め、教職員が健康的に教育活動に従事できる環境づくりに努める。

【教師】自分らしく・協働・研修→力量向上→働き方改革

【児童】主体的・対話的深い学び→自分らしく・協働

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 対話により共通理解を深めながら、**個が生かされ**、その財産を共有できる教職員集団「チーム沓掛小」を形成し、一人が一役を担い**協働**する。先進校の視察研修やCA訪問研修を進めながら、「教師力」と「人間力」を高め、魅力ある教育活動を展開する。
- イ 「分からない」を中心に据えた児童同士の学び合い(**協同**の学び)を通して、ICT機器を活用しながら、**主体的・対話的で深い学び**を実現できる授業づくりを推進し、学習履歴や振り返りを蓄積・分析・利活用させながら、指導と一体化した学習評価を適切に進めるとともに、個別最適な学びを創造する【沓掛小の課題→強み(学級経営の柱)】。
- ウ 挨拶や異年齢集団活動を通し、児童が周りの人と温かくつながる機会を豊かに仕組み、全校で取り組む中ですべての児童に**自分らしい**居場所づくりを進める。全ての教育活動を通して、自分の気持ちを言葉にして伝える機会を大切にし、**個性**の違いを認めたり、寛容に接したりできる望ましい仲間づくりを支援する【沓掛小の強み・課題】。
- エ 縦と横のつながりを生かし、教育活動と関連させながら地域の教育的資源や支援を活用した活動を工夫し、学校と地域との組織的・継続的な**連携・協働**体制の確立を図る。
- オ 教職員の声を聞き、①「効率化」・②「充実化」・③「協働化」を軸とした業務改善を進め、**ワーク・ライフバランスを大切にした働き方**を全校体制で力強く推進する。